

第13号 平成21年8月1日 発行
(偶数月発行/年6回)

七色花

【発行者】
中国・四国中国帰国者支援・交流センター
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

センター所長紹介

中国・四国中国帰国者支援・交流センターの渡辺です。本年6月から所長に就任いたしました。当センターは、平成18年9月に開所をいたしまして、早いもので3年を迎えようとしています。開所からこれまで、当センターでは日本語学習支援をはじめ、様々な交流事業や相談事業、啓発事業を柱とした支援事業の充実に努めてまいりました。今後とも中国帰国者のみなさまに愛される、また、利用してよかったと言われるようなセンターにしていきたいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたし



介護相談説明会



6月7日(日)山口県岩国市で、介護専門員連絡協議会会長 渡辺宗男さんを講師に招き、介護相談説明会を行いました。参加者が8人と少なかつたものの、高齢者をかかえている家族が多く、熱心に質問をしていたのが印象的でした。今後も、帰国者、支援者の皆様の要望を聞きながら、身近なテーマを取りあげて、相談説明会を開きたいと思ひます。

高知県帰国者来訪

6月24日(水)高知県の帰国者10人がセンターを訪れ、施設を見学しました。翌日25日は、広島県の帰国者がガイド役となって宮島の厳島神社や岩国の錦帯橋を案内し、夕方は交流会をしました。お互いすぐに打ち解けて、楽しい一日を過ごしました。県外から帰国者が訪ねて来たのは初めてです。これからも帰国者の皆さんの来訪をお待ちしています。



企業見学



6月27日(土)岡山県と広島県福山市の帰国者を対象に、ヤクルトの工場見学を行いました。見学は、まずヤクルトを飲んでスタート。製造過程を見ながら担当者の説明を聞き、最後に、出来たてのヨーグルトをいただきました。新鮮でとてもおいしいヨーグルトでした。

帰りに、鞆の浦の歴史的町並みを散策しました。暑い日でしたが、ゆっくりと景色を楽しみました。

中国・四国ブロック中国帰国者支援機関連絡会



7月10日(金)当センターで、各県・市町村の担当課職員が集まって、連絡会を行いました。会議では、中国帰国者の抱える問題について自立指導員の体験発表を聞いたり、各自治体の取り組みについて発表を聞いたりしました。また、支援事業の実施方法について厚生労働省に直接質問する時間を設けるなど、今後の中国帰国者支援の充実のために様々な情報交換がなされました。

今後、帰国者の身近な地域で、よりきめ細かな支援が展開されることを期待します。

健康増進交流会



センターでは、7月から広島県福山市で定期的に帰国者教室を開くこととなりました。第1回目として、7月26日(日)に健康増進交流会(ボウリング)が行われ、15人の帰国者が参加しました。ほとんどの人が初めての体験で、他の人の順番の時に投げる、バーが上がる前に投げる、ボウルが途中で止まる、後ろに投げる...などなど、いろいろ失敗をしながらも楽しく交流しました。優勝は、元気な2世3世を抑えて、1世の下岡幸夫さん。まだまだ若い人には負けません! 次回は9月に手芸講座を行う予定です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

地域で活躍する中国帰国者 ~島根県 松木明子 さん~

中国へ渡った時私は小学校3年生でした。中国でもしばらく小学校で勉強しましたが、長い中国での生活の中で日本語は忘れてしまっていました。でも、1980年、日本に一時帰国し、空港に迎えに来たおじが話しているのを聞いているうちに、突然日本語がよみがえって来ました。

1990年、やっと日本に永住帰国できましたが、それから苦労が続きました。帰国直後は家に何もなくて、近所の人から家具や日用品を、福祉事務所から布団をもらいました。自立支度金という制度の存在を知らず、気付いたときにはもう申請が間に合いませんでした。

私は日本語を思い出しましたが、夫や子供は大変でした。政府からもらったのは日本語の教科書1冊。家の周りに日本語教室はありませんでした。夫も子供たちも働きながら少しずつ日本語を身につけました。特に夫は年齢も高かったため、時間がかかりました。日本語ができないので、給料が安く体力のいる仕事ばかりを転々とし、やっと親戚に紹介してもらった建設会社に落ち着きました。道路の舗装というきつい仕事で腰を痛めましたが、頑張って15年間勤め上げました。

今は夫も退職し、子供たちも自立しました。自宅は辺鄙な所にあるので、少し街中にある娘の家で孫の面倒を見る毎日です。地域の活動にはよく参加しています。いきいきサロンに参加して、健康体操をしたり、歌を歌ったり、踊りを踊ったりしています。年に1回の旅行も楽しみです。今年は広島県の三次市に行き、温泉に入ったり、神楽を見たりしました。センターの行事に参加することも楽しみにしています。私の住む地域は不便な所ですが、自分の故郷なので、そこに住みたいです。



交流会で陶芸体験をする松木明子さんとご主人

8・9月の予定

- 8月2日(日) ポリマークレイ教室〔岩国市〕
- 8月9日(日) 異文化交流会 盆踊り〔広島市〕
- 8月24日(月) 相談説明会 葬儀のマナー〔広島市〕
- 9月11日(金) 中国・四国ブロック中国帰国者支援者研修会〔広島市〕
- 9月26日(土) 地域交流会〔香川県・岡山県〕

投稿募集

みなさんからの投稿を募集します。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。あなたも「七色花」に記事を書いてみませんか?原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。

編集後記

先日46年ぶりの皆既日食が見られました。私は、テレビで皆既日食を見ましたが、月によって太陽の一部(または全部)が隠れる現象は、とても神秘的でした。

今度皆既日食が見られるのは26年後だそうです。(友岡)

第13号 平成21年8月1日 发行
(双月发行/年6回)

【发行者】
中国·四国中国归国者支援·交流中心

社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会
〒732-0816 广岛市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@fec.a.ocn.ne.jp

中心所长介绍

我是中国·四国中国归国者支援·交流中心的渡边。自今年6月起就任中心的所长职务。中心成立于平成18年9月，不知不觉已经快到3年。自成立以来，中心从支援日语学习开始，进行着各种各样的交流工作、咨询工作以及启发工作，并在此基础上不断地扩充着对归国者的支援工作。为得到大家一如既往的厚爱，并使大家感到参加中心的活动有意义是我们今后工作的努力目标。请大家多多关照。



介护咨询说明会



6月7日(周日)在山口县岩国市，特意邀请介护专门员联络协议会会长渡边宗男先生为讲师，举办了介护咨询说明会。参加者不多、只有8名，但是身边有老人的家庭较多，大家都非常踊跃的提出了不少问题。在今后，还会根据归国者的需要，就大家切身问题举办类似的咨询说明会。

高知县归国者来访

6月24日(周三)高知县归国者一行10人来访，进行了设施观摩学习。翌日25日，由广岛的归国者做向导带大家游览了宫岛的严岛神社和岩国的锦带桥，傍晚进行了交流会。在融洽的气氛中，度过了欢快的一天。从广岛县外专程来访这还是首次，欢迎今后有更多的归国者来中心访问。



企业参观学习



6月27日(周六)以冈山县和广岛县福山市归国者为对象，举办了ヤクルト工场参观学习。首先，试饮了酸奶。之后一边听工场工作人员的讲解一边参观了酸奶的制造过程。最后，还品尝了刚做好的酸奶。新鲜的酸奶口感非常的好。

之后，来到有悠久历史的鞆の浦观光。天气虽然有些炎热，但是悠闲的欣赏了当地的景色。

中国·四国地区中国归国者支援机关联系会



7月10日(周五)在中心召开了集各县·市町村担当课职员的联系会议。会议中就中国归国者所持问题由自立指导员进行了经验发表，还将各自自治体工作实体进行了发表。此外专设时间，针对支援工作的实施方法由厚生劳动省的工作人员进行了疑问解答等。就今后如何充实对中国归国者的支援工作进行了各种情报交换。

今后，对归国者所在区域的更加完善的支援工作寄予着极大的期盼。

促进健康交流会



从7月开始，中心在福山市定期开设归国者教室。做为第1次，于7月26日(周日)举办了促进健康交流会(保龄球)。共计15名归国者参加。绝大多数人都是初次体验保龄球，所以说还没有轮到自己时就投球、横杆还没有升起时就投球、保龄球停在两个球道之间、向后投球.....等等，尽管经历了各种各样的失败，还是开心的进行了一次交流会。最终获得优胜的是、压倒精力充沛的2代·3代的1代归国者下冈先生，还远远不会输给年轻人！

下一次计划在9月开设手工艺讲座。欢迎更多的归国者来参加！

活跃于当地的中国归国者 ~岛根县 松木明子 女士~

当年去中国时还只是小学3年级学生。在中国又继续在小学学习了一段时间。长期生活在中国，渐渐地日语也都淡忘了。但是，1980年回日本探亲时，听到来机场接我们一家的叔父的话语，突然感到日语从脑海中涌现出来。

1990年，终于回到日本定居，也经历了不少的艰辛。归国后，家中一无所有，家具和日常生活用品都是邻居送来的，从福祉事务所仅得到了几床被而已。也不知道自立支度金这项制度，等到知道可以发给安家费时，已经过了申请期限。

我自己的日语可以说是慢慢想起来的，可是丈夫和孩子们就不容易了。政府仅发给1册简单的教材。家附近也没有日语教室。丈夫和孩子都是通过工作学会的日语，特别是丈夫，因为来到日本时已经不年轻了，更多花了不少时间。由于刚来时不会日语，所以丈夫的工作往往都是低工资的体力工作，终于得到亲戚的介绍，在建筑公司里从事铺路的工作，累伤了腰腿，也还是坚持工作了15年。

如今丈夫已经退休，孩子们也都自立了。由于我家地处偏僻，所以经常是在市内居住的女儿家帮着带孩子。但是对地区的各种活动还是积极的参加着。比如说参加了地区举办的健康沙龙，和大家一起做一做体操、唱唱歌、跳一跳舞等。最高兴的是每年还有一次旅行。今年去了广岛县的三次市，洗了温泉，还看了神乐。对中心今后的活动计划也寄予着极大的期盼。我住的地方虽然有些不便，但毕竟是自己的故土，还是要叶落归根的。



交流会上参加陶艺体验的松木明子女士和她丈夫

8·9月的预定

- 8月2日(周日) 树脂粘土教室〔岩国市〕
- 8月9日(周日) 异文化交流会 盂兰盆舞会〔广岛市〕
- 8月24日(周日) 咨询说明会 葬仪礼节〔广岛市〕
- 9月11日(周五) 中国·四国中国归国者支援者研修会〔广岛市〕
- 9月26日(周六) 地区交流会〔香川县·冈山县〕

征集投稿

向大家征集投稿。内容不限，可以是生活琐事，也可以是追忆往昔，或者是个人专长等。您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗？原稿字数限定为400字以内，投稿方式以直接送到中心、邮寄、FAX，期待着各位的投稿。

编辑后记

前两天，看到了时隔46年的日全食。我是从电视上看到的日全食，由于所在区域的不同，看到被月亮遮挡住的部分太阳(或全部)，真是神秘的自然现象。

据说下一次的日全食是在26年后。(友冈)